茨城新聞　2016年(平成28年)4月2日　土曜日

新会長に山形氏

県弁護士会「期待応えたい」

新会長に就任し抱負を語る県弁護士会の山形学会長＝県庁

県弁護士会の会長に1日付で就任した山形学氏(47)が同日、水戸市笠原町の県庁で記者会見し、「潜在的な需要を浮かび上がらせ、弁護士に求められる期待に応えていきたい」と抱負を語った。

山形氏は北茨城市出身。水戸市内に共同で事務所を構えている。同会の本年度の目標として、ホームページの改善▽県民や他業種との交流▽斬新な研修―の3点を掲げた。山形氏は「ネットを開いて弁護士を探そうとしても、選択肢が多すぎて諦めてしまう人もいるはず。会ってみたくなる、相談してみたくなる、依頼してみたくなる弁護士を増やしたい」と述べた。

同会の会員数は1日現在、269人と10年前の116人の約2・3倍まで増加。特に県南西地域の伸びが顕著で、若手も非常に増えているという。山形会長は「会としては今後の法曹人口は政府同様(全国で)年間1500人増が必要と考えている」とした。

副会長には小林憲生、近藤識之、上畠佳子、福岡秀哉の各氏が就任した。

(黒崎哲夫)